

西神戸医療センターの経営状況について

(1) 診療実績 (結核除く)

	平成 27 年度	平成 26 年度	増減
病床利用率	87.8%	85.5%	2.3%
延入院患者数	136,525 人	132,003 人	4,522 人
延外来患者数	391,979 人	389,196 人	2,783 人
入院単価	63,641 円	61,023 円	2,618 円
外来単価	12,742 円	12,463 円	279 円
平均在院日数	11.1 日	11.3 日	▲0.2 日
紹介率	67.4%	65.8%	1.6%
逆紹介率	132.9%	126.2%	6.7%

(2) 平成 27 年度診療実績の状況

○一般入院

平成 26 年度に実施していた工事による病床の利用制限がなくなったとともに、お断りしない救急や地域連携の促進による患者数の確保を院内で強く指示したことから、病床利用率が平成 26 年度より上昇し 87.8%となった。

また、難易度の高い手術の増加などに伴い、診療単価が平成 26 年度より大幅に上昇して 63,641 円となった。

○一般外来

一般外来患者数は、ケモセンターの拡充などにより、平成 26 年度より上昇して 391,979 人となり、診療単価についても注射料収益の増加等により上昇し 12,742 円となった。

○決算概要

患者数や診療単価の上昇によって、一般入院収益約 6 億 3,300 万円、一般外来収益約 1 億 4,400 万円の増収となったが、費用については、給与費が約 2 億 4,300 万円、材料費が約 2 億 5,400 万円増加したため、4 億 5,000 万円の赤字見込みであった。

しかしながら、市民病院機構への事業移管にあたって、経営面に関する総務省からの指摘を受け、市から貸与されている土地建物の賃料約 4 億 1,000 万円の減額措置が行われた結果、平成 27 年度決算は約 4,000 万円の赤字となり、平成 26 年度比で約 6 億 4,000 万円の大幅な改善となった。

なお、平成 29 年度以降は移管に伴って、土地建物料総額 6 億 1,000 万円は不要となる。

(3) 経営改善に向けた平成 28 年度の主な取組み

お断りしない救急を中心に患者数を確保するとともに、平成 28 年度に実施する内視鏡センターの拡充など、診療機能の向上とあわせて経営改善を進めていく。

<主な取り組み>

- ・形成外科医増員（常勤化）による増収
- ・整形外科医増員による増収
- ・内視鏡センター改修による増収（平成 28 年 10 月～）